

情報活用力アップで 収益向上

本当に役立つシステム投資とは？

情報はデータ、ナレッジ（知識）、ノウハウ（知恵）に分類されます。よくデータの一元管理といいますが、データそのものは定量化された単なる情報単位にすぎません。このデータを有効に収集・活用することが情報活用力といえます。そして、個々のデータを収集し、知識や知恵に変換する仕組みにITシステムが役立つのです。本当に役立つITシステムを構築するには、社内業務に精通した担当者による、業務目的に応じた情報活用の設計が必要です。自社の情報戦略には何が必要か。大企業と中小企業ではIT導入の目的が違って当たり前。まして現在のような不況下ではなおのこと、自社の経営に即役立つIT活用でなければ意味がありません。「牛刀を持って鶏肉を断つ」がごとき過重なシステム投資は経営の負担になるばかりです。一般に、情報化投資は売上総額の7%以内が妥当な金額といわれています。初期投資コストだけでなく、導入後のランニングコストも念頭に入れておかなければ「こんなはずではなかった」という結果になります。

情報活用力アップの重要性

ある中堅企業では、業務効率化のためERP（統合業務）パッケージを導入したものの、システムのメンテナンスおよびカスタマイズにかかるコストを計算していなかったため想定外の経費がかかったということです。また、慣れ親しんだ業務方法の変更に対する従業員の反発で社内の人間関係が悪化し、退職者まで出る始末となりました。なぜ業務システム導入が必要なのか、それによって日常業務がどう変わるのか。情報システムに詳しい人材が社内にはいないため、現場に対する事前の説明不足が原因で深刻な事態を招いてしまいました。

PCがひとり一台になってから約10年、オフィスのIT活用は「拡大一辺倒」から「成熟」へと、業務IT化の有効性に関する見直しの時期を迎えています。これからのIT活用は日々進化する新しい技術やノウハウに振り回されるのではなく、ITを使用する側の情報活用力アップが求められます。社員一人ひとりが「自社に必要な技術とは何か？」を見極める眼を養い、真に役立つ自社のIT活用方法を構築していく必要があります。

70%の企業が不満を感じている

パソコンを使って仕事をするのが日常化しています。そんな中、「膨大な情報に埋もれて、何がどこにあるのかわからない」「実際に使えないファイルやデータが増える」「ITツールが使いこなせずストレスがたまる」といった声がよく聞かれます。社内システムでも「基幹システムが使いこなせていない」「IT投資の費用対効果が見えない」という不満が発生しているようです。経済産業省の調査（「中堅・中小企業のIT革命の対応に関するアンケート」）によれば、IT導入においてベンダーとのコミュニケーションで不満を抱える企業は7割以上という結果が出ています。また、導入後の仕様変更等で実際の見積額を上回るコストが発生することも多いようです。こうした問題の背景には、業務システムに関する要望を設計し、上手に伝える人材が社内にはいないという現状があります。



テクノ経営の「情報活用コンサルティングサービス」

テクノ経営では、IT技術を有効に使いこしていただくための「情報活用コンサルティングサービス」を実施しています。基本的なコンセプトは「人間中心のIT活用」。企業の目的や実情にあった業務システムの活用方法をアドバイスします。経営者と外部ベンダーとの橋渡し、企業内のシステム担当者の育成、経営課題の解決に役立つ使えるITシステムの構築をサポートします。数多くのコンサルティング経験を踏まえ、企業の情報活用力アップを支援してまいります。

情報活用コンサルティングサービスの概要

投資より情報活用力

情報が膨大にありすぎて、何がどこにあるかわからない…

様々なITツールが乱立していて、使い方が切り分けられていない…

情報が疎雑化していてゴミが多く、信頼して使える情報がない…

ITを導入し普及させる時代

時代の変化

ITを効果的に利用し使いこなす時代

企業IT資産のムリ、ムダ、ムラの排除、改善活動

情報活用コンサルティング

●情報コンサルティングサービスメニュー

情報活用診断

ヒアリング及び現場調査を通じて、現状業務システムの実態を把握し、現状業務とシステムとのギャップから課題・問題点の抽出を行います。

ビジョン策定支援

経営戦略の一部として情報活用戦略を策定することで企業業績に直結したITビジョン(経営ガイドライン)を策定します。

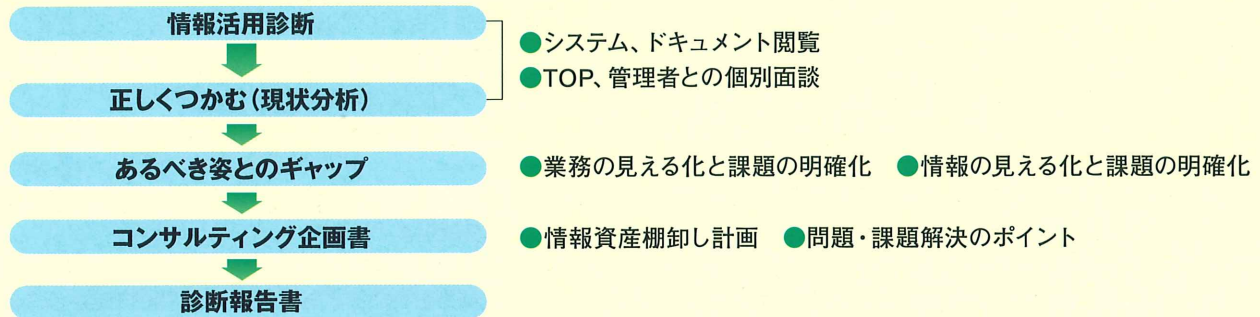
プロジェクト管理支援

お客様に代わってシステム導入の上でのプロジェクト管理を行います。スケジュール、コストの管理のほか、ベンダーとの調整も行います。

システム導入支援

システム導入の上で必要となるRFP作成支援や要件定義などの支援を行い、システム構築ベンダーへの調整をご支援いたします。(工場IT化促進を支援いたします)

●情報活用診断のご提案



●情報活用診断のメリット

- ★ 直接・間接業務に関する情報活用効率化をめざすべく方策を提示します
- ★ 現状の自社の強みと弱みを客観的に把握できます
- ★ IT担当者等の活用効率(適正配置)に関する指針が得られます
- ★ プロの目で見えた情報活用戦略構築に役立つアドバイスが得られます
- ★ IT投資抑制に直結する即効性のあるアドバイスが得られます
- ★ 貴社の収益向上と発展成長に貢献するための組織再生戦略をご提案します



●コンサルティングの主なテーマ

- ★ システム監査・診断 …………… (総合システム診断、個別システム診断)
- ★ 経営情報戦略 …………… (ビジョン策定、グループ経営管理)
- ★ 情報システム戦略 …………… (部門システム統合、統合データベース、新システム移行)
- ★ Eビジネス戦略 …………… (Eビジネス事業計画策定、ビジネス動向調査、システム構築支援)
- ★ サプライチェーン改革 …………… (調達・購買戦略、生産管理・生産技術システム改善)
- ★ 現場業務革新 …………… (生産業務改革支援、コストダウン実行支援、製販物システム統合)
- ★ TCO改善支援 …………… (オープンシステム構築支援、Webサービス導入支援) など

テクノ経営「IT相談室」開設について

IT活用に関するお悩み・ご相談について「IT相談室」を開設しています。
業務システム導入や活用から日常PC活用法に関するご質問まで、システム専門家がご答えいたします。
また、情報活用診断のお問合せについても、下記までお気軽にご連絡ください。

株式会社テクノ経営総合研究所 IT推進部 担当：丸澤 (marusawa@tmng.co.jp)
TEL.06-6910-6797 FAX.06-6910-5897



テクノ経営総合研究所
IT推進部
コンサルタント

丸澤 秀一

PROFILE

大手通信事業会社及び外資系大手電機メーカーにて、基幹情報システム及び生産管理システムの企画・設計・開発・運用や情報活用ビジョン策定に携わる。経営者の視点に立ち「真に使える! 業務システム構築」をキーワードに幅広くビジネスコンサルティングを展開中。